



当院放射線科のご紹介

診療放射線科医長 游 逸明

放射線科と聞いて、病院の中でどのような事を行っている所だにご想像されるでしょうか。昨年（2019年）、病院の放射線科を舞台にしたドラマ『ラジエーションハウス』がテレビで放映され、それ以降放射線科がどのような事を行っている所なのかを、以前よりご理解頂ける様になったと感じています。

一般に、放射線科で行っている診療内容は大きく以下の4つに分けられます。

- (1) 放射線や磁気、超音波を使って、身体の中の各臓器等の形や状態を画像にする。
- (2) (1) で作られた画像の中にどのような病気が存在しているかを文章化して、その画像の内容の報告書を作成する。
- (3) 体の中の臓器の画像をリアルタイムに見ながら、その臓器の治療を行う（カテーテルというストローを長くした様な形の細長い管を血管の中に入れてそこから治療を行う、いわゆる血管内治療はここに含まれます）。
- (4) 放射線を腫瘍等の病変部分に直接当てて、病気を治療する（放射線治療と言います）。

このうち当院放射線科では (1), (2), (3) を行っており、(4) の放射線治療に関しても以前は当院でも行っていました。現在は必要な場合は他の施設にお願いしています。

また当院では (1) は放射線技師（心臓や血管の超音波画像検査は検査技師）が担当し、(2) は放射線科医と他科医師が共同で担当、(3) は放射線技師と放射線科医師、他科医師が共同で行っています。

なお (1), (2), (3) に関して、放射線だけでなく磁気や超音波を使って得られた画像を利用して診療を行っている事から、科の名前は『放射線科』より『画像診療科』とした方がその診療内容を一般の方に理解して頂きやすいかも知れません。

現在当院では以下の様な画像検査を行っています。

- ・CT 検査（放射線を使って体の中を輪切り状にした画像を作る検査）
- ・CR 検査（一般にレントゲン検査といわれるもの）
- ・RI 検査（特定の臓器に集まりやすい物質を体の中に投与して病気の状態を画像にする検査）
- ・骨密度測定検査（骨粗鬆症の有無や程度を画像で調べる検査）
- ・MRI 検査（磁気を使って体の中を画像にする検査）
- ・超音波検査（超音波を使って体の中を画像にする検査）

当院の外来を受診されたり病棟に入院されている患者さんには、担当医の判断でこれらの検査を受けて頂く事が出来ます。また他の病院や医院等で診療を受けておられる患者さんも一部の検査に関して、その施設から当院の地域医療連携室にご紹介頂ければ当院で画像検査（画像所見を記載した報告書もお付け致します）を行わせて頂きます。

放射線科に関するお問い合わせやご質問等ございましたら、どんな事でも結構ですので当院放射線科受付あるいは地域医療連携室までご遠慮無くご相談下さい。

当院の新型コロナウイルス感染対策

感染管理担当・副看護師長 宮川 英和

2019年12月中国武漢市で発生したと言われる新型コロナウイルス（以後 COVID-19）は全世界に拡大し、今なお終息の見込みがありません。

当院は長期に入院されている方が多く、呼吸器系ウイルスにも易感染状態にあると言えます。そのため当院では、COVID-19 感染防止対策チームを早期に立ち上げ、感染対策を行ってきました。当院の COVID-19 感染対策の柱は、大きく分けて次の2点です。

1. 病院内へのウイルス侵入防止策
 2. ウイルスが紛れ込んでも簡単に拡げない対策
- 当院が行っている感染対策の主な内容を紹介します。



1. 病院へのウイルス侵入防止対策

病院に出入りする全ての人々がウイルスを持ち込む可能性があります。

①職員の体調管理

職員の健康チェックを統一した記録用紙を用いて、2度/日実施（体温測定含む）しています。体調不良時は受診を基本とし、夜間・休日でも体調不良があれば、直ちに病院に連絡するよう徹底しています。

②面会制限

COVID-19 感染対策として「面会制限」をさせて頂いています。原則面会禁止とし、特別な理由があり、主治医が面会必要と認めた場合のみ、体調確認（検温含む）後、マスク、手指消毒を行って頂き短時間面会とさせて頂いています。患者・家族の皆様には、ご理解とご協力を頂き感謝しております。現在タブレットによるリモート面会が出来るよう検討調整しています。

③病院玄関での体温測定と問診

病院玄関にて外来者の方々に対し、体温測定・問診を行っています。発熱や持続する呼吸器症状、明らかな接触者歴があれば、感染対策を行い診察しています。

また、発熱や呼吸器症状がある方が入院される時は、COVID-19 を意識した感染対策を行い、検査結果を確認しながら解除しています。



骨粗鬆症の治療

薬剤部長 桶本 幸

骨粗鬆症は、骨密度が下がることによって骨折のリスクが増大する病気です。遺伝的な要因から、栄養や薬物による影響、生活習慣など様々な要因によって引き起こされます。

骨粗鬆症の治療は、骨格を健やかに保ち骨折を予防することが目標となります。十分な予防効果を得るためには食事・運動などの生活習慣の改善が基本となりますが、必要に応じて薬物治療も行われます。

今回、骨粗鬆症の薬として一般的に使用する薬とその特徴について紹介します。

◎骨粗鬆症の治療薬（商品名）

①ビスホスホネート製剤（ボノテオ[®] ベネット[®] ボナロン[®] など）
骨の量を減りにくくすることで、骨を折れにくくします。週一回や月一回の内服で効果を発揮する製剤があり、ご自身の生活リズムに合わせた治療ができます。コップ一杯の水で飲み、服用後 30 分は横にならないなど正しい飲み方や注意を守ってもらう必要があります。主な副作用として、胃の不快感、骨の痛みなどが起こることがあります。



<ベネット錠[®]75 mg>

②抗 RANKL 抗体薬（プラリア[®]）

6 か月に 1 回の皮下注射で、骨の量を減りにくくする効果が期待できます。血中のカルシウムの濃度が下がる副作用を予防するため、通常、カルシウム剤の飲み薬が処方されます。

③副甲状腺ホルモン薬（テリボン[®] フォルテオ[®]）

どちらも皮下注射製剤で、骨の形成を促進します。特に、フォルテオ[®] はペン型の自己注射が可能な製剤で、家庭や外出先などで使用が可能です。吐き気などの副作用が起こることがあります。



<フォルテオ[®]>

④活性型ビタミン D3 薬（エディロール[®] アルファロール[®] ワンアルファ[®] など）

ビタミン製剤で、腸からのカルシウム吸収を促進します。高齢者など、転倒する可能性が高い患者さんなどに広く使用されます。



<エディロール[®]>

⑤選択的エストロゲン受容体モジュレーター（ビビアント[®] エビスタ[®] など）

女性ホルモン（エストロゲン）の分泌が低下したことによってバランスを崩した骨の代謝を正常に近づけます。長時間にわたって飛行機や車に乗る場合など、長期間不動状態となる場合には、前もって医師や薬剤師に相談してください。

⑥ビタミン K2 薬（グラケー[®] など）

食後に服用するビタミン製剤で、カルシウムの骨への沈着を促します。一部の抗凝固薬（血をさらさらにする薬）を服用している方は、飲み合わせがよくない場合があるので医師や薬剤師に相談してください。

地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

地域に根付き、愛され、信頼されるクリニックを目指しております

いしだ医院

循環器内科

内科

皮膚科

院長 石田 勝也 先生



宇治市内の病院で約10年、主に循環器内科医として心臓カテーテルやペースメーカーなどの診療を行っていたのですが、長年温めていた地域のプライマリーケアに従事したいという思いから2019年7月に診療所を開設いたしました。

せっかくやるんですから地域の皆さんに喜んでもらえるクリニックにしたいと思っております。

「木曜日ども休みで困っている。」「近隣に皮膚科がなくて困っている」という声をよく聞いておりましたので、木曜日も午前は診療することにしました。

また、開設にあたり皮膚科専門医にトレーニングを請い、まだまだ到らない部分もありますが皮膚科医として顕微鏡検査、液体窒素療法等も習得いたしました。

専門の循環器疾患はもちろん、一般内科疾患、皮膚科疾患もお気軽にご相談いただければ一生懸命診療に当たらせていただきたいと思います。

スタッフ一同、患者様や御家族に寄り添い、心の通う、温かい雰囲気クリニックになるよう精進いたしております。

■ 京都府宇治市菟道田中32-6
■ TEL 0774-20-7711

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前診 9:00~12:00 (受付時間:9:00~11:30)	●	▲	●	●	●	●	/
午後診 15:00~18:00 (受付時間:15:00~17:30)	●	●	●	/	●	/	/

■ 休診日 木曜午後、土曜午後、日曜日、祝日



❀ 重症心身障がい児者 多機能型通所事業所しらうめ ❀

「5周年を迎えて」

療育指導室 保育士 秋山 仁美

2015年4月に開所したしらうめ。地域の酒造からお借りした酒樽にお菓子をたくさん詰め込んで鏡割りをしたオープニングセレモニーから5年が経過しました。

「地域に医療的ケアを受けられる事業所がない今、卒業後はずっと家にいなければいけないのでしょうか」当院を受診されていた子どもさんのご家族の大きな不安の声を聴き「私たちがこの場所のできること」として児者多機能型通所事業所の開所が実現しました。開所当初より、しらうめは利用者の皆様、ご家族と一緒に「こんな場所になればいいのに・・・」という思いへ近づけるように共に歩んできたように感じます。

パンフレットには「地域の中で安心してあたりまえのように暮らしたい。そんな思いを大切に地域に根差した生活の場を目指します」とあります。皆様の中にあるそれぞれの「あたりまえ」を守りながら、また新たな「あたりまえ」を増やしていけたらいいと考えます。新型コロナウイルスにより今までとは違う生活様式となっていくとは思われますが、より安全で安心して過ごして頂けるように、そしてやさしくあたたかい生活の場でありたいと思っております。



開所時よりしらうめの入口にある絵です。
大きなしらうめの木の下で動物たちがお花見をしています。

臨床工学室の紹介

主任臨床工学技士 三橋 寿子

体温計や血圧計は皆さんが普段から日常的に使用する医療機器です。これら日常的に使用する医療機器以外にも病院内では人工呼吸器や麻酔器、モニタなどあらゆる場面で様々な医療機器が使用されています。現代医療において医療機器は欠かせないものとなっており、それゆえ機器によっては操作が複雑となり、時に医師や看護師が操作に戸惑うことがあります。そういったときに医療機器専門で業務に従事しているのが臨床工学室に所属する臨床工学技士です。医療機器の操作・保守・点検を主として行い、医療従事者に対して医療機器の取扱説明や、トラブル発生時の対応などを行っています。また、住み慣れたご自宅で酸素や人工呼吸器を使用される患者さんやご家族の皆さんに対して医療機器を安心して使用していただけるように取扱説明や注意点などの説明を行っています。



手術室・内視鏡室

手術室師長 神田 直子

手術室は、主に呼吸器外科・消化器外科の手術を行っています。呼吸器外科の手術は胸腔鏡下で行う手術が殆どです。消化器外科は胃瘻造設等を行っています。

呼吸器外科においては術前カンファレンスを必ず行い患者さんの情報を共有し手術が安全に円滑に実施できるようにしています。看護においては術前から術後までの担当制をとり、その担当の看護師が患者さんの病室へ術前訪問し、手術や麻酔に対する不安を緩和、病棟と情報共有し看護の継続を図っています。術後訪問では実践した手術看護の評価を行い、次からの手術に活用することで、手術看護の質の向上を図っています。

内視鏡検査では上部消化管・下部消化管・気管支の検査を行っています。手術同様、患者さんが安心して内視鏡検査が受けられるように支援しています。



手術室の様子



術前訪問の様子



内視鏡室の様子

新型コロナウイルス感染予防のための 面会禁止措置下におけるテレビ電話によるお見舞い

外来看護師長 中村 明美

新型コロナウイルスの流行により、当院では感染予防のために令和2年2月28日より面会は原則禁止となっています。

このような状況下の中でも患者さんとご家族が面会できる場を提供する手段を議論し、4月22日から院内ネット環境を整備し、各病棟と外来においてLAN中継器を設置しテレビ電話によるお見舞いを行っています。

外来業務の都合もあるため平日の14:30から15:30までの短い時間ですが患者さんやご家族からは「顔が見られて安心した」とのご意見をいただいています。

現在置かれている環境下の中で少しでも患者さんを元気にして、ご家族の満足度も上げる努力を継続していきたいと思えます。

実際の使用（外来：ご家族側）



お互い「また話そうね〜！」

実際の使用（病棟：患者さん側）



再会を喜ばれる

※. 写真の使用につき、患者さん・ご家族の了承を得ています。

交通のご案内

- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 京田辺から
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

*...各駅より送迎車あり

診療科のご案内

● 内科	● 脳神経内科	● 呼吸器内科
● 消化器内科	● 循環器内科	● 小児科
● 外科	● 整形外科	● 呼吸器外科
● 皮膚科 (入院のみ)	● リハビリテーション科	● 放射線科
● 心療内科 (入院のみ)	● 歯科 (入院のみ)	

独立行政法人国立病院機構
南 京 都 病 院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)
〒610-0113 城陽市中芦原11番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
時間外緊急時 0774-52-0642
URL <https://minamikyoto.hosp.go.jp/>

地域医療連携室

電話受付時間の延長について
平成30年12月1日から、申し込み受付を19時まで延長させていただきます。

電話受付時間
8:30～19:00 月～金(土・日・祝日休み)
TEL: 0774-52-0191 (直通)
0774-52-0065 (代表)
FAX: 0774-58-0270

予約状況を確認し、その場で受診日時をお返事いたします。
なお、お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますので、ご了承ください。

E-mail: 407-renkei@mail.hosp.go.jp